

もくじ

- ・ かさじぞう

かさじぞう

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： ちひろ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし むかし、あるところに、
おじいさんと おばあさんが すんでいました。
ふたりの いえは まずしく、
あすは もう がんじつだというのに、
おもちをつくる こめも ありませんでした。

そこで ふたりは、いえに あった ざいりょうを
かきあつめて、なんとか
『あみがさ』を ひとつ つくりました。

「これを まちで うって、
こめと さかなを かってくるよ」
「いってらっしゃい、おじいさん」

おじいさんは あみがさを せおい、
わらぐつを はくと、ゆきの つもった
やまみちを こえて、まちへと むかいました。



5

おおみそかの まちは、
とても にぎわいでいました。

「かさー！かさー！あみがさは いらんかねー！」

おじいさんは こえをはりあげて、
まちじゅうを あるきまわりましたが、
そのひ あみがさは、
ひとつも うれませんでした。

「はあ・・・としこしの ひに、
こんな めずらしくもない かさを かうものは
いないか。なにも かわずに かえったら、
ばあさんは がっかりするだろうな・・・」

おじいさんは かたをおとして、
おもい あしどりで、いえに かえっていきました。

